



あさひ

11月号

令和4年10月31日
横浜市立旭小学校

「思いをもつ力」

「やり抜く力」

「関わる力」

【WEB】 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/>

【Instagram】 [asahi_e.s._yokohama](https://www.instagram.com/asahi_e.s._yokohama)

RESTART “121st SCHOOL YEAR”

友達と星を数えよう

副校長 岩元カオリ

長雨の後は空が高くなってきました。秋らしく、過ごしやすい季節の到来です。11月は1・2・3年生の校外学習や個別支援級の鶴見区合同宿泊体験学習があり、楽しみにしている子どもたちも多いことと思います。旭小では9月の6年生の片品宿泊体験学習に続き、10月、4年生が金沢区野島に、5年生が静岡県御殿場にそれぞれ宿泊体験学習に出かけ、私は5年生の引率でした。どちらも数か月前から計画し、内容も子どもたちとともに考えての実施です。保護者の皆様にも準備等ご協力いただきありがとうございます。

小学校では初めての宿泊学習に臨んだ4年生。科学館や動物園にも立ち寄り、海と自然とたくさん触れ合い、思い出いっぱいの二日間になりました。



5年生は二泊三日の御殿場です。富士山の麓でハイキングや牧場体験などたくさんの自然に囲まれて日頃はできない経験をすることができました。

初めての野外炊事、出来栄は様々でしたが、友達と力を合わせて作った

カレーの味は格別でした。自分たちの力に自信をもち、一人ひとりが輝いた三日間でした。

この感染症が終息すれば、今よりもさらに、思い思いに旅行を計画し誰もが広い世の中を見に行くことができるようになるでしょう。なぜ、あえて今、宿泊体験学習を行うのでしょうか。

答えはいろいろあると思いますが、私はこう考えています。「友達とともに宿泊することが、子どもたちをより大きく成長させるから」いつもはご家族の愛情に包まれて日々の生活を送っている子どもたち。家に帰ればほっとして、素の姿に戻り、おいしい晩ご飯を食べて元気を蓄え、ぐっすり眠って朝を迎え…。それが日常です。野島では、御殿場では、子どもたちは家に帰りません。眠りにつくまで友達と過ごし、目が覚めてもそばにいるのは家族ではありません。「home」ではない場所でどのように過ごすのか。何を話すのか、どう振る舞うのか。決まった答えはない中で、今まで生きていた年月分の経験からその場その場で子ども自身が答えを出し行動に移していく。そうして家族と離れても、一日を過ごすことができた、という経験をもつことができるのです。

子どもを育てることには、子どもの手を取って大切に守りはぐくむ面と、少しずつ手を放し、ひとり立ちを見守る面の両方があります。学校には困っても助け合える友達があります。ご家族とともに愛情をもって子どもたちに接する教師がいます。友達と一緒に星を眺めること、その一晚の思い出が、子どもたち一人ひとりの小さな自信につながることを願っています。